

会計名 一般会計			市民講座開設等事業				担当部	教育部		
款	項	目					担当課	生涯学習課		
10	6	1					担当係	推進係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	生涯学習							
		施策の内容	学習機会の充実							
	目的	南部生涯学習センターと北部生涯学習センターにおいて、各種市民向け講座を行い、市民の学習意欲の向上や学習活動への参加促進を図る。			主たる内容	○市民講座の開催 ・連続講座 ・パソコン講座 ・タブレット講座 ・1DAY講座				
	位置づけ	関連計画	刈谷市生涯学習推進計画							
			根拠法令							
		対象者	市内在住・在勤または在学の人			事業期間	～			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画		
		<ul style="list-style-type: none"> 南部生涯学習センター市民講座 17講座251人受講 北部生涯学習センター市民講座 24講座294人受講 南部生涯学習センター1DAY講座 6講座105人受講 北部生涯学習センター1DAY講座 6講座88人受講 		<ul style="list-style-type: none"> 南部生涯学習センター市民講座 17講座227人受講 北部生涯学習センター市民講座 24講座285人受講 南部生涯学習センター1DAY講座 6講座71人受講 北部生涯学習センター1DAY講座 6講座61人受講 		<ul style="list-style-type: none"> 南部生涯学習センター市民講座 10講座87人受講 北部生涯学習センター市民講座 13講座103人受講 南部生涯学習センター1DAY講座 5講座32人受講 北部生涯学習センター1DAY講座 5講座36人受講 		<ul style="list-style-type: none"> 南部生涯学習センター市民講座 16講座 北部生涯学習センター市民講座 20講座 南部生涯学習センター1DAY講座 5講座 北部生涯学習センター1DAY講座 5講座 		
成果		<ul style="list-style-type: none"> 今まで実施したことのないジャンルの講座を積極的に企画・実施し、市民が学ぶ意欲を向上させることができた。 指導者名簿の中から講師を探すなど、新たに市民講座の講師として活躍の場を提供することができた。 								
課題		<ul style="list-style-type: none"> 講座内容をマンネリ化させず、市民が受講したいと思える魅力ある講座を企画していけるように工夫していく必要がある。 								
指標		指標名称（単位）				実績値		目標値		
活動指標	講座の年間受講者数（人）				30年度	元年度	2年度	3年度	5年度	
					738	644	258	440	600	
他市との比較検証	各市の講座実施実績より（HP参照） 安城市：公民館講座（10公民館） 181講座、延べ3,410人参加 碧南市：生涯学習講座 2講座、延べ112人参加									
C 事業コスト	単位：千円	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳				
	事業費 ①	23,988	24,111	21,667	26,019	合計	21,666,970 円			
	財源	特定財源	1,371	1,236	448	1,494	委託料	21,166,360 円		
		一般財源	22,617	22,875	21,219	24,525	使用料及び賃借料	500,610 円		
	職員人件費 ②	4,398	2,850	2,762	2,185					
	総事業費（①+②）	28,386	26,961	24,429	28,204					
建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称					
	2年度までの累積事業費		0		講座受講料					
	4年度以降の事業費見込		0							

会計名			市民講座開設等事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	生涯学習課
款	項	目		担当係	推進係
10	6	1			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	市民の生涯学習活動に対し、学習機会の提供及び活動の支援をしております事業の必要性は高い。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	各種講座の開催により市民への多様な学習プログラムの提供、学習意欲の一層の向上や参加促進を効率的に行っている。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	時代の変化と市民ニーズに対応したプログラムの提供など市民の生涯学習活動を支援するために、市の関与は必要である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		普通	各種講座を実施することで、市民の学習意欲の向上及び学習活動への参加の促進に寄与している。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
引き続き南部及び北部生涯学習センターにおいて各種講座を行うことで、市民の学習意欲の向上を図るとともに学習活動への参加を促進していく。					

会計名 一般会計			青少年健全育成事業				担当部	教育部		
款	項	目					担当課	生涯学習課		
10	6	5					担当係	青少年係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系		分野	教育文化						
			基本施策	青少年育成						
			施策の内容	青少年を取り巻く環境の整備						
	目的		市内小・中・高等学校、関係機関で組織する児童生徒愛護会の活動を中心に、児童生徒の生活指導、安全確保等の取組を行い、青少年の健全育成を図る。			主たる内容	○夏季・冬季休業中、テスト期間中、夜間等街頭補導の実施 ○児童生徒愛護の集いの開催 ○善行美徳表彰の実施 ○家庭の日・青少年作文コンクール、家族への手紙コンクールの実施 ○青年学級の開設			
	位置づけ		関連計画							
			根拠法令							
	対象者		市民		事業期間	～				
	実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画		
		・児童生徒愛護会定例会 3回 ・中学校区生活指導懇談会 3か所 ・善行美徳表彰 21件31人 ・危険箇所調査 97か所 ・家庭の日作文コンクール 948通 ・青少年作文コンクール 644通 ・家族への手紙コンクール 900通 ・合同街頭補導実施 延べ374日		・児童生徒愛護会定例会 3回 ・中学校区生活指導懇談会 6か所 ・児童生徒愛護の集い 6か所 ・善行美徳表彰 21件29人 ・危険箇所調査 73か所 ・家庭の日作文コンクール 840通 ・青少年作文コンクール 790通 ・家族への手紙コンクール 829通 ・合同街頭補導 延べ358日		・児童生徒愛護会定例会 3回（書面により実施） ・善行美徳表彰 21件22人 ・危険箇所調査 102か所 ・合同街頭補導 延べ370日		・児童生徒愛護会定例会 3回 ・中学校区生活指導懇談会 6か所 ・児童生徒愛護の集い(中止) ・善行美徳表彰 ・危険箇所調査 ・家庭の日作文コンクール ・青少年作文コンクール ・家族への手紙コンクール ・合同街頭補導		
成果		新型コロナウイルス感染症拡大のため、夏休みに行っていた作文の募集を中止とするなど通常の活動が実施できないなか、児童生徒愛護会を書面会議で実施することにより、学校、家庭、地域における青少年育成について情報共有を図り、共通の認識を得ることができた。また、学区内危険箇所調査を通学路改善要望と合同で実施し、調査の効率化を図った。								
課題		新型コロナウイルス感染症の影響下における事業の実施方法を工夫する必要がある。								
		指標名称（単位）			実績値		目標値			
					30年度	元年度	2年度	3年度	5年度	
活動指標		合同街頭補導（延べ日数）				374	358	370	380	380
成果指標		児童生徒愛護の集い参加者数（人）					181	0	0	700
他市との比較検証										
C 事業コスト V		単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳		
	事業費 ①		2,276	2,181	1,448	3,060	合計 1,448,061 円			
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	54,990 円		
		一般財源	2,276	2,181	1,448	3,060	旅費	3,440 円		
	職員人件費 ②		2,778	3,620	2,688	2,712	需用費	874,131 円		
	総事業費（①+②）		5,054	5,801	4,136	5,772	委託料	515,500 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称				
2年度までの累積事業費		0								
4年度以降の事業費見込		0								

会計名			青少年健全育成事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	生涯学習課
款	項	目		担当係	青少年係
10	6	5			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	街頭補導活動、作文コンクールなど各事業を実施することにより、青少年の非行防止や健全育成の推進に寄与することができると考えられ、必要性が高い。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		高い	児童生徒愛護会は各学校の生徒指導主事等で構成されており、各地域の実情にあわせた取り組みや地域との連携を図ることができる。 学区内危険箇所調査を通学路改善要望と合同で実施し（平成27年度～）、調査や対応検討の効率化を図っている。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	各事業を実施するにあたっては、学校、家庭、地域及び関係行政機関の連携が必要であるため、市が主体となることが妥当である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		普通	生活指導懇談会の開催や合同街頭補導の実施により、学校、家庭、地域が一体となって青少年の健全育成に取り組む環境づくりを推進することができる。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
青少年を取り巻く環境が大きく変化する中、その時々に対応すべき問題を意識しながら、地域ぐるみで児童生徒の生活指導・安全確保への取り組みを促進できるよう、事業を引き続き実施する。					

会計名 一般会計			家庭教育啓発指導事業				担当部	教育部	
款	項	目					担当課	生涯学習課	
10	6	5					担当係	青少年係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	青少年育成						
		施策の内容	家庭教育の推進						
	目的	青少年育成市民運動の啓発、関係行政機関及び団体との連携や連絡等を行い、地域における青少年健全育成の推進を図る。			主たる内容	○青少年育成市民運動の啓発 ○街頭啓発活動の実施 ○夜間街頭補導の実施 ○中学校区生活指導懇談会の実施			
	位置づけ								
	関連計画								
	根拠法令								
	対象者	市民			事業期間	～			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画	
・青少年育成推進員連絡協議会 3回 ・家庭教育啓発講演会 1回 ・街頭啓発活動 3回 ・夜間街頭補導 2回 ・施設研修 1回 ・中学校区生活指導懇談会 3回		・推進員連絡協議会 3回 ・家庭教育啓発講演会 1回 ・街頭啓発活動 3回 ・夜間街頭補導 2回 ・施設研修 1回 ・児童生徒愛護の集い 1回 ・中学校区生活指導懇談会 6回 ※青少年育成市民運動地域推進員は平成31年度で廃止		—		青少年健全育成事業と統合			
成果		新型コロナウイルス感染症拡大の影響により地域の行事が相次いで中止となったため、家庭教育推進に関する啓発品を配布することができなかった。							
課題		配布する啓発品について、より有用な物品の選定に努める必要がある。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				30年度	元年度	2年度	3年度	5年度	
活動指標		街頭啓発活動（回）		5	5	0	0	0	
成果指標		中学校区生活指導懇談会参加者数（人）		425	347	0	420	420	
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳	
	事業費 ①		336	194	0	0	合計 0円		
	財源	特定財源	0	0	0	0			
		一般財源	336	194	0	0			
	職員人件費 ②		2,006	2,079	0	0			
	総事業費（①+②）		2,342	2,273	0	0			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称			
2年度までの累積事業費		0							
4年度以降の事業費見込		0							

会計名			家庭教育啓発指導事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	生涯学習課
款	項	目		担当係	青少年係
10	6	5			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		普通	子どもを健やかに育てる最初の間である家庭の役割の重要性について啓発を行う必要がある。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		低い	青少年育成市民運動地域推進員を設置して啓発活動などを行っているが、推進員が各地区1名ではできることが限られる。 ※平成31年度廃止
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	青少年育成に関する市民への意識啓発については、市が主体となって行うことが妥当である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		普通	街頭啓発や青少年育成強調月間に講演会を実施することにより、家庭教育の重要性を周知することができる。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止	
青少年育成市民運動地域推進員を廃止したため、青少年の見守りや啓発活動については、地域全体で行えるような体制づくりを推進する。					

会計名 一般会計			ハツラツかりやっ子育成支援事業				担当部	教育部	
款	項	目					担当課	生涯学習課	
10	6	5					担当係	青少年係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	青少年育成						
		施策の内容	青少年を取り巻く環境の整備						
	目的	青少年に自然体験、地域活動、異世代交流等の多様な活動の機会を提供し、地域社会を基盤とした青少年健全育成の環境づくりを推進する。	主たる内容	複数の非営利団体が連携して実施する青少年健全育成に大きな効果が得られる先駆的な事業に対して、1事業10万円を上限として補助金を交付する。					
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者	市民	事業期間	平成16年度～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画	
		採択2事業 ・「読-1グランプリ」（刈谷青年会議所等） ・「井ヶ谷幼稚園焼き芋パーティー」（井ヶ谷幼稚園サポーターズ会等）		採択2事業 ・「巨大流しそうめんver2.0 水鉄砲合戦住吉小の戦い」（住吉小学校お父さんの会等） ・「令和元年度サンキュースクール」（東刈谷小学校親父の会等）		採択1事業 ・「パラソルを使ったかりっぴー創作」（かりがね小学校創立50周年事業実行委員会等）		応募5事業	
成果		補助金を交付することにより、地域社会を基盤とした多様な活動の機会を提供し、家庭や学校及び地域が一体となってハツラツとした子どもを育む環境づくりを支援することができた。							
課題		新型コロナウイルス感染症の影響により応募が少なかったことから、実施可能な催し等について可能性を探る必要がある。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				30年度	元年度	2年度	3年度	5年度	
成果指標		補助対象採択事業数（事業）		2	2	1	5	5	
成果指標		参加者数（人）		253	228	887	600	600	
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳	
	事業費 ①		200	199	100	500	合計 100,000 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金 100,000 円		
		一般財源	200	199	100	500			
	職員人件費 ②		849	770	299	301			
	総事業費（①+②）		1,049	969	399	801			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称			
2年度までの累積事業費		0							
4年度以降の事業費見込		0							

会計名			ハツラツかりやっ子育成支援事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	生涯学習課
款	項	目		担当係	青少年係
10	6	5			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	青少年の健やかな育成のために地域団体が自ら企画・運営する事業に対し補助金を支出することは、有意義かつ継続的な活動を支援するために必要である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	複数の団体が協働して青少年健全育成に関わることで、地域の連携強化につながる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	地域住民及び非営利団体が中心となる活動の活性化につながるため、市が積極的に支援をすることは妥当である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		普通	青少年に多様な活動（自然体験、異世代交流等）の機会を提供し、地域、学校、家庭が一体となった青少年健全育成に寄与している。
	今後の方向性		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
	他の補助金等との整合性を検討しながら、地域、学校、家庭が一体となった青少年健全育成活動を支援する必要がある。				

会計名			放課後子ども教室推進事業				担当部	教育部		
一般会計							担当課	生涯学習課		
款	項	目					担当係	青少年係		
10	6	5								
PLAN概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	青少年育成							
		施策の内容	青少年の自立支援と社会参加の促進							
	目的	学校、家庭、地域が連携して放課後の子どもの安心・安全な居場所を設け、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。	主たる内容	地域の人々の参画を得て、遊びや学習、体験活動、地域住民との交流等の取組を行う放課後子ども教室を開設する。 【体験教室】 ○缶バッジ作り ○クリスマスグッズ作り ○抹茶体験 ○折り紙遊び ○ニュースポーツ ○英語遊び ○ダンス ○キッズヨガ など						
	位置づけ	関連計画	子ども・子育て育成支援事業計画、刈谷市生涯学習推進計画							
		根拠法令	刈谷市放課後子ども教室事業実施要綱、刈谷市地域学校協働活動推進員設置要綱							
		対象者	各小学校に在籍する児童	事業期間	平成20年度～					
		実施方法	■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 □その他							
	B事業実績 D実績 Oハ 実 施 V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画		
		【既設校】 亀城小、小高原小、日高小、衣浦小、住吉小、かりがね小、平成小、富士松南小、富士松北小、富士松東小、小垣江小、双葉小、東刈谷小、朝日小 【新設校】 小垣江東小		市内全小学校（15校）で実施・開催回数 875回		市内全小学校（15校）で実施・開催回数 703回		市内全小学校（15校）で実施・開催回数 884回		
成果		地域住民の参画を得て、小学生の安心・安全な居場所を提供することができた。								
課題		・新型コロナウイルス感染症拡大のため、事業の実施が9月開始となり、ほとんどの体験教室を中止とした。コロナ禍における体験教室の実施方法について検討する必要がある。 ・少人数学級が推進されているため、実施教室の確保が課題となる。								
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			30年度	元年度	2年度	3年度	5年度			
活動指標		登録児童数（人）		1,266	1,361	952	1,100	1,100		
指標										
他市との比較検証		開設状況 碧南市：7校中1校、週3日、知立市：7校中7校、週5日、両市とも小学校の教室で開設。高浜市：5校中5校、週5日、小学校のグラウンドで開設（雨天時は体育館）。安城市：21校中0校（H29年度廃止）								
C事業コスト		単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳		
	事業費 ①		24,880	22,651	19,774	29,216	合計	19,774,358 円		
	財源	特定財源	12,480	11,747	10,891	11,719	報酬	3,330,276 円		
		一般財源	12,400	10,904	8,883	17,497	職員手当等	342,278 円		
	職員人件費 ②		4,706	4,852	3,360	4,897	報償費	15,050,913 円		
	総事業費（①+②）		29,586	27,503	23,134	34,113	旅費	244,650 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称				
2年度までの累積事業費		0		地域学校協働活動推進事業費補助金（県）						
4年度以降の事業費見込		0								

会計名			放課後子ども教室推進事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	生涯学習課
款	項	目		担当係	青少年係
10	6	5			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	児童が心豊かで健やかに育まれる環境整備推進のため、遊び、学び、体験、地域の方々と交流する場として、放課後の安心・安全な居場所を確保することが必要である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	既存の学校施設を利用すること、また、地域住民にスタッフとして参加いただくことにより、効率的な事業の推進を図ることができる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	本事業を実施するにあたっては学校関係者との連携、協力が必要であり、行政が主体となって積極的に関与する必要がある。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	日常的に交流することが少ない他学年の児童や地域の方々と接する機会ができ、児童の健全育成に大きく寄与している。
	今後の方向性		<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
	令和4年度までは補助金が交付される見通しだが、それ以降の扱いは未定である。補助金の動向を注視しつつ、地域学校協働活動との兼ね合いを考えながら、今後の運営方法等について検討する必要がある。				

会計名			中高生の居場所づくり事業				担当部	教育部	
一般会計							担当課	生涯学習課	
款	項	目					担当係	青少年係	
10	6	5							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	青少年育成						
		施策の内容	青少年の自立支援と社会参加の促進						
	目的	中高生が放課後等に気軽に集まることができる居場所を提供する。また、中高生自らイベントの企画運営に携わることができる機会を提供することにより、中高生の自立を支援する。		主たる内容	放課後等に気軽に立ち寄り、学習や交流ができる中高生のための居場所を提供し、声かけや悩み等の相談対応、自主的な活動への支援を行う。また、大学生をピアカウンセラー（仲間として相談に応じる人）や学習支援スタッフとして配置する。 ○場所 総合文化センター ○開催日 毎週火・木曜日 16時～21時				
	位置づけ	関連計画	刈谷市子ども・子育て支援事業計画						
		根拠法令	子ども・若者育成支援推進法						
		対象者	市内在住または在学の中高生		事業期間	平成22年度～			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画 V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画	
		・利用者数	延べ1,404人	・利用者数	延べ985人	・利用者数	延べ329人	・利用者数	延べ700人
・イベント		多目的ホール開放始め3事業	・イベント	多目的ホール開放始め4事業	・イベント	多目的ホール開放	・イベント	多目的ホール開放始め3事業	
参加者数		延べ86人	参加者数	延べ92人	参加者数	延べ47人	参加者数	延べ70人	
成果		仲間同士や大学生スタッフとの交流を深める中で、中高生が気軽に立寄ることができる居場所づくりができた。学習支援を併設し、利用目的を増やしたことにより、利用の活性化を図ることができた。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、テスト期間以外も創作活動室を開放した。							
課題		中高生の自主性や社会性を育む自主活動につながるイベント等の仕掛けが必要である。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			30年度	元年度	2年度	3年度	5年度		
成果指標		延べ利用者数（人）		1,404	985	329	700	900	
成果指標		中高生が関わったイベントの回数（回）		13	17	6	10	17	
他市との比較検証	碧南市：類似事業の実施（「ららくるにしばた」学習支援）								
C 事業コスト	単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳		
	事業費①		2,043	2,435	1,772	2,792	合計	1,771,728 円	
	財源	特定財源	220	384	282	506	委託料	1,771,728 円	
		一般財源	1,823	2,051	1,490	2,286			
	職員人件費②		2,160	1,925	1,568	1,582			
	総事業費（①+②）		4,203	4,360	3,340	4,374			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称			
2年度までの累積事業費		0		地域学校協働活動推進事業費補助金（県）					
4年度以降の事業費見込		0							

会計名			中高生の居場所づくり事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	生涯学習課
款	項	目		担当係	青少年係
10	6	5			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	地域でのコミュニケーションの欠如、若者の自立の遅れ等、社会環境が変化する中、中高生が気軽に立寄り社会参加できる場所が必要である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	大学生をピアカウンセラーとして養成し、大学生自身の意識、能力向上に繋げ、またその大学生をスタッフとして配置することで事業の効果が期待できる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	中高生が放課後等に気軽に立ち寄るなかで交流を深め、悩みごとを安心して相談できる環境づくりや学習支援の場を提供することが必要であるため、公共施設内に開設し、市が関与することが妥当である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	安心して過ごせる居場所を設け、同世代の仲間との交流や悩みの相談等を行うことで、中高生の自立を支援することができる。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
引き続き、中高生が放課後に気軽に立寄りすることができる居場所を提供するとともに、ボランティア活動や社会参加を支援する。また、ピアカウンセラーもしくは学習支援員としての大学生スタッフの確保に努めるなど、学習支援を実施し、利用の活性化を図る。					

会計名 一般会計			子ども・若者支援事業				担当部	教育部
款	項	目					担当課	生涯学習課
10	6	5					担当係	青少年係
総合計画 施策体系							分野	教育文化
			基本施策	青少年育成				
			施策の内容	青少年の自立支援と社会参加の促進				
PLAN 事業概要 計画	目的	ひきこもりやニート等の困難を抱える子ども・若者及びその家族に対し、専門の相談員による相談窓口を開設することで、子ども・若者の健全な育成を図る。		主たる内容	子ども・若者総合相談窓口を開設し、面接相談を実施する。 ○対象者 市内在住、在勤又は在学で、概ね40歳までの人及びその家族 ○場所 子ども相談センター ○相談日時 毎週土曜日（年末年始を除く）9時45分～15時45分 ○相談員 社会福祉士、精神保健福祉士、臨床心理士等			
	位置づけ	関連計画						
		根拠法令	子ども・若者育成支援推進法					
		対象者	子ども・若者（概ね40歳まで）		事業期間	令和2年度 ～		
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他					
			30年度実績		元年度実績	2年度実績	3年度計画	
		_____		_____	・相談者数 19人 ・相談回数 76回	・相談者数 30人 ・相談回数 150回		
B 事業 実績	成果	ひきこもりやニートなど社会的困難を抱える子ども・若者の不安や悩みなどを聴き、関係機関と連携を取ることができた。						
	課題	困難な相談事例への対応のため、ケース検討会議を実施するなど、他機関との連携を図る必要がある。また、相談枠の拡充、外出できない相談者のためのアウトリーチやオンラインでの相談、他機関につなぐための同行支援など、相談者目線での支援を検討する必要がある。						
O 実施	指標名称（単位）		実績値			目標値		
			30年度	元年度	2年度	3年度	5年度	
	活動指標	相談回数（回）	—	—	76	150	150	
	活動指標							
	他市との比較検証	豊田市若者サポートステーション：毎週火～日曜日実施 安城市若者相談窓口：毎週水曜日、毎月第1土曜日実施 西尾市子ども・若者総合相談センター：毎週火～土曜日実施						
C 事業 コスト	単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳	
	事業費 ①		0	0	840	1,557	合計 839,550 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料 839,550 円	
		一般財源	0	0	840	1,557		
	職員人件費 ②		0	0	4,106	3,767		
	総事業費（①+②）		0	0	4,946	5,324		
建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称			
	2年度までの累積事業費		0					
	4年度以降の事業費見込		0					

会計名			子ども・若者支援事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	生涯学習課
款	項	目		担当係	青少年係
10	6	5			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など 		高い	社会的困難を抱える子ども・若者の増加が社会問題化したことにより、子ども・若者育成支援推進法のもとで総合相談窓口の体制整備が努力義務とされており、社会需要性が高い。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など 		高い	子ども・若者支援に精通したNPO法人に業務委託しており、手段として最適である。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など 		高い	相談内容に生活困窮が含まれるため、無料で相談窓口を開設することが望ましく、そのためには市が主体となり実施すべきである。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など 		高い	社会的困難を抱える子ども・若者を支援することで青少年の自立支援と社会参加が図られるため、施策への貢献度は高い。
	今後の方向性			<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
現在、土曜日の実施であるため、平日の相談日を設けたり、相談に来られない子ども・若者のためにアウトリーチを実施したりするなど、相談体制の拡充の検討が必要となる。					

会計名 一般会計			市民講座開設等事業				担当部	教育部		
款	項	目					担当課	生涯学習課		
10	6	13					担当係	推進係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	生涯学習							
		施策の内容	学習機会の充実							
	目的	中央生涯学習センターにおいて、市民講座や大学連携講座など各種市民向け講座及びイベントを行い、市民の学習意欲の向上や学習活動への参加促進を図る。			主たる内容	○市民講座の開催 ○大学連携講座（愛知教育大学、名城大学、至学館大学、愛知工業大学）の開催 ○市民講師企画講座の開催 ○刈谷まなびの広場の開催				
	位置づけ	関連計画	刈谷市生涯学習推進計画							
		根拠法令								
		対象者	市内在住・在勤または在学の人など		事業期間	～				
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input checked="" type="checkbox"/> その他							
	B 事業 D 実績 O ハ 実 施 V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画		
		・市民講座 32講座615人受講 ・大学連携講座 愛知教育大学 4講座89人受講 名城大学 2講座80人受講 至学館大学 1講座30人受講 愛知工業大学 1講座36人受講 ・刈谷まなびの広場 14講座215人受講		・市民講座 32講座566人受講 ・大学連携講座 愛知教育大学 4講座85人受講 名城大学 2講座24人受講 至学館大学 1講座44人受講 愛知工業大学 1講座39人受講 ・刈谷まなびの広場 中止		・市民講座 18講座273人受講 ・大学連携講座 愛知教育大学 中止 名城大学 1講座49人受講 至学館大学 中止 愛知工業大学 中止 ・刈谷まなびの広場 14講座225人受講		・市民講座 26講座 ・大学連携講座 2講座 愛知教育大学 6講座 名城大学 2講座 至学館大学 1講座 愛知工業大学 10講座 ・刈谷まなびの広場		
成果		・大学教授等による専門的な講座を実施することにより、市民の学習意欲の向上及び学習活動の活性化を図ることができた。 ・大学連携講座においてオンラインと会場のハイブリッド方式で開催し、コロナ禍にあわせた新しい学びの方法を進めることができた。								
課題		・大学連携講座の実施においては大学の協力を得る必要があるため、目標値の達成を目指し、大学との密な調整を通じて引き続き質の高い講座を目指すとともに、定住自立圏域にチラシなどで広く周知し、受講者数を一定数確保するよう努める必要がある。 ・社会情勢や時代に即した内容の講座を企画することで、市民の学習意欲をより一層高められるよう取組む必要がある。								
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			30年度	元年度	2年度	3年度	5年度			
成果指標		市民講座の年間受講者数（人）		615	566	273	470	650		
成果指標		大学連携講座の年間受講者数（人）		235	192	49	150	350		
他市との比較検証		各市の講座実施実績より（HP参照） 安城市：公民館講座（10公民館） 181講座、延べ3,410人参加 碧南市：生涯学習講座 2講座、延べ112人参加								
C 事業 コスト		単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳		
	事業費 ①		12,167	11,668	12,014	12,705	合計	12,014,375 円		
	財源	特定財源	43	21	0	243	委託料	12,000,000 円		
		一般財源	12,124	11,647	12,014	12,462	使用料及び賃借料	14,375 円		
	職員人件費 ②		3,819	2,850	3,061	2,787				
	総事業費（①+②）		15,986	14,518	15,075	15,492				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称				
2年度までの累積事業費		0								
4年度以降の事業費見込		0								

会計名			市民講座開設等事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	生涯学習課
款	項	目		担当係	推進係
10	6	13			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	市民の生涯学習活動に対し、学習機会の提供及び活動の支援をしており、事業の必要性は高い。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	各種講座、生涯学習イベントの開催により市民への多様な学習プログラムの提供、学習意欲の一層の向上や参加促進を効率的に行っている。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	時代の変化と市民ニーズに対応したプログラムの提供、生涯学習イベントの開催など市民の生涯学習活動を支援するために、市の関与は必要である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		普通	各種講座及び生涯学習イベントを実施することで、市民の学習意欲の向上及び学習活動への参加の促進に寄与している。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
引き続き中央生涯学習センターにおいて、市民講座や大学連携講座など各種市民向け講座及び生涯学習イベントを行うことで、市民の学習意欲の向上を図るとともに学習活動への参加を促進していく。					

会計名 一般会計			文化振興事業				担当部	教育部		
款	項	目					担当課	生涯学習課		
10	6	13					担当係	推進係		
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	文化・芸術							
		施策の内容	鑑賞・体験の機会づくり							
	目的	市民に舞台芸術とふれあう機会を提供し、文化芸術意識の向上を図る。			主たる内容	文化芸術創造の拠点である総合文化センターで、指定管理者が実施する各種の文化普及鑑賞事業を支援する。 また、発表の場としての機能を提供することで、市民の芸術文化活動を支援する。				
	関連計画	刈谷市文化振興基本計画								
	位置づけ	根拠法令	劇場、音楽堂等の活性化に関する法律							
	対象者	対象者を限定せず			事業期間	平成23年度～				
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画		
		38事業(有料31事業・無料7事業)を実施、入場者延30,558人		32事業(有料28事業・無料4事業)を実施、入場者延28,489人		22事業(有料20事業・無料2事業)を実施、入場者延11,842人		32事業(有料27事業・無料5事業)を実施		
・大ホール利用 697回 245,942人 ・小ホール利用 589回 49,383人 ・リハーサル室1利用 364回 12,530人 ・リハーサル室2利用 552回 12,209人		・大ホール利用 558回 187,895人 ・小ホール利用 502回 43,685人 ・リハーサル室1利用 313回 12,348人 ・リハーサル室2利用 485回 10,940人		・大ホール利用 261回 40,865人 ・小ホール利用 248回 13,892人 ・リハーサル室1利用 168回 3,462人 ・リハーサル室2利用 229回 3,092人						
成果		・大ホールでの自主事業として、「立川生志独演会」(8月2日)、「NHK交響楽団刈谷公演」(9月26日)などを実施し、多くの市民に鑑賞してもらうことを通じて舞台芸術の普及、振興に寄与することができた。 ・アウトリーチ事業を2箇所で開催し、市民が身近な場所で気軽に芸術鑑賞できる機会を提供することで、鑑賞人口の拡大に寄与することができた。								
課題		・新型コロナウイルス感染症の影響により一部事業を中止し、実施した事業も座席数を制限しての開催となったため、延べ入場者数は想定を大きく下回ったが、引き続き感染対策の徹底を図りながら事業数の確保に努めるとともに、入場者数の見込みについて過去の実績を踏まえながら事業選定を行う必要がある。 ・市民のニーズを捉え、実施内容について検討する必要がある。								
指標名称(単位)					実績値		目標値			
					30年度	元年度	2年度	3年度	5年度	
成果指標		文化振興事業入場者数(人)				30,558	28,489	11,842	20,000	36,000
成果指標		大ホール稼働率(%)				89.3	70.5	34.9	55.0	80.0
他市との比較検証		同規模の文化施設等の管理・運営・企画を民間の指定管理者に任せている自治体、施設名、事業数 一宮市：一宮市民会館 4事業 兵庫県明石市：明石市民会館 32事業								
C 事業コスト	単位：千円		30年度(決算)	元年度(決算)	2年度(決算)	3年度(予算)	2年度事業費内訳			
	事業費①		31,795	34,933	38,279	38,077	合計	38,279,000円		
	財源	特定財源	1,500	0	0	0	委託料	38,279,000円		
		一般財源	30,295	34,933	38,279	38,077				
	職員人件費②		4,205	3,620	3,136	3,578				
	総事業費(①+②)		36,000	38,553	41,415	41,655				
	建設事業	全体事業費(単位：千円)			0		2年度特定財源名称			
2年度までの累積事業費			0							
4年度以降の事業費見込			0							

会計名			文化振興事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	生涯学習課
款	項	目		担当係	推進係
10	6	13			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		普通	身近な場所で各種の文化普及・鑑賞事業を開催することで、市民の舞台芸術作品の鑑賞機会に対するニーズを実現している。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		高い	指定管理者による運営を行うことで民間の備えるノウハウを活用し、地方自治体の文化施設では招聘することが難しい事業を開催することに成功している。 大規模公演は、共同主催の形で実施し、リスクを抑えながら質の高い舞台公演を開催している。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	文化芸術創造の拠点となることで、「誇りと愛着もてるまちづくり」施策を実現している。 普及活動としての市民スタッフ育成事業や市民の発表支援を通じて、「市民が活動しやすい施設・環境づくり」施策を実施している。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	著名なアーティストや、芸術性の高い公演を実施することにより、身近に質の高い舞台芸術を鑑賞する機会を提供することで市民サービスの向上を図っている。 また、センターの知名度向上により、刈谷市の認知度アップに貢献している。
今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
ホールの知名度向上及びシティセールスとしての著名な公演の誘致に力を入れるとともに、市民や地域の文化芸術の振興に寄与する公演を、今後もバランスよく編成していく。					

会計名			刈谷からの文化発信創作事業				担当部	教育部	
一般会計							担当課	生涯学習課	
款	項	目					担当係	推進係	
10	6	13							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	文化・芸術						
		施策の内容	鑑賞・体験の機会づくり						
	目的	総合文化センターの市民スタッフ「文化工房かりや」を中心とし、公募の市民とともに舞台芸術を創造・表現・発表することで、刈谷の文化を掘り起こし、刈谷への愛着・誇りを醸成する。	主たる内容	○台本の作成 ○市民劇出演者及び舞台スタッフの公募 ○関連ワークショップ及び講座の開催 ○市民劇の開催					
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画						
		根拠法令	劇場、音楽堂等の活性化に関する法律						
	対象者	対象者を限定せず		事業期間	令和元年度 ~ 令和2年度				
	実施方法	□直営 □委託 ■指定管理 □補助・助成 □その他							
	BDO 事業実績 計画	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画	
		_____		・台本作成 ・関連ワークショップ 6回 119人		・出演者及びスタッフの公募 22人 ・関連ワークショップ 2回 13人 ・関連講座 3回 113人 ・プレ公演 1回 50人 ・本公演 3回 245人		_____	
成果		・ボランティア団体である「文化工房かりや」を中心に、オーディションや稽古、関連企画等を運営することによって、事業終了後も創作活動を実施していくための企画制作能力を養うことができた。 ・幅広い年代の公募市民が稽古等を通じて交流することによって、新たな人間関係を育むことができた。 ・関連企画の開催により、出演以外でも市民が事業に参加できる機会を創出し、地元への愛着を醸成することができた。							
課題		・今回培った舞台製作のノウハウを次回以降の企画に生かし、引き続き、市民の興味が湧くような創作を織り交ぜた公演の開催を目指していく。 ・公演を見たいという要望が多く市民から出ていたが、新型コロナウイルス感染症の影響により座席数を制限しての開催となったため、このような声への対応を検討する必要がある。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				30年度	元年度	2年度	3年度	5年度	
成果指標		入場者数（人）			—	—	245	—	—
指標									
他市との比較検証		施設付きのボランティア団体がある近隣市は、大府市と知立市があるが、ボランティア団体が主体となって企画公演を行っているところはない。							
C 事業コスト		単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳	
	事業費 ①		0	350	5,186	2,460	合計	5,186,000 円	
	財源	特定財源	0	100	1,700	0	委託料	5,186,000 円	
		一般財源	0	250	3,486	2,460			
	職員人件費 ②		0	2,079	2,762	0			
	総事業費（①+②）		0	2,429	7,948	2,460			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称			
2年度までの累積事業費		0		一般財団法人 地域創造助成金					
4年度以降の事業費見込		0							

会計名			刈谷からの文化発信創作事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	生涯学習課
款	項	目		担当係	推進係
10	6	13			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	市民の出演者を募り、市民が中心となって企画運営する市民参加型による舞台芸術を制作する機会を提供することは、文化振興において重要である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	総合文化センターの事業として、指定管理者がボランティアスタッフと協働することで、事業運営や経理などが適正に行われている。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	舞台芸術作品を鑑賞するだけでなく、市民が主体となって創造・制作する機会を提供するために、市が支援していくことは円滑な事業実施を進めていく上で妥当である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	地域の歴史資源を題材とした市民劇に携わることで地元への愛着を醸成するとともに、市民が主体となって文化芸術を創造していくことは、刈谷の文化振興に大きく寄与しているものである。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
市民ボランティアスタッフの創作能力を養い、事業終了後も引き続き主体的に自主公演を開催していけるよう、支援をしていく。					

会計名 一般会計			社会教育主事講習実施事業				担当部	教育部		
款	項	目					担当課	生涯学習課		
10	6	1					担当係	推進係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	生涯学習							
		施策の内容	学習活動の支援							
	目的	社会教育主事任用資格を取得することで職員の専門性向上を図り、市民の学習活動への取組みを支援する。			主たる内容	講習参加に要する費用を支出する。				
	位置づけ	関連計画	刈谷市生涯学習推進計画							
		根拠法令	社会教育法							
		対象者	市職員		事業期間	～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画		
		講習修了者 1名						講習参加者 1名		
成果		新型コロナウイルス感染症拡大防止のため受講者数を半分に減らす選考が行われ、令和2年度は参加することができなかった。								
課題		部署異動を考慮し職員を定期的に講習に参加させる必要があるが、開催地が遠方の場合には職員の派遣が困難である。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				30年度	元年度	2年度	3年度	5年度		
活動指標	講習参加			実施	—	中止	実施	—		
指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト V	単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳			
	事業費 ①		30	0	0	167	合計 0円			
	財源	特定財源	0	0	0	0				
		一般財源	30	0	0	167				
	職員人件費 ②		926	0	0	0				
	総事業費（①+②）		956	0	0	167				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称				
2年度までの累積事業費		0								
4年度以降の事業費見込		0								

会計名 一般会計			家庭教育地域推進事業				担当部	教育部	
款	項	目					担当課	生涯学習課	
10	6	1					担当係	青少年係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	生涯学習						
		施策の内容	学習活動の支援						
	目的	核家族化が進み、子どもへの接し方がわからないと不安を抱える親が増加している現状に対し、家庭教育の重要性を認識する必要があるため、各種事業を地域において実施し、家庭や地域の教育力の向上を図る。				主たる内容	○小学校区家庭教育推進協議会への事業委託		
	位置づけ								
	関連計画								
	根拠法令								
	対象者	市民			事業期間	～			
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画	
住吉小学校区家庭教育地域推進協議会 実績1,398人 ・ボランティア活動 ・児童体験教室 ・避難所訓練 ・超巨大流しそうめんとペットボトルロケット大会		東刈谷小学校区家庭教育地域推進協議会 実績2,161人 ・プログラミング教室 ・ボランティア活動 ・災害対策訓練 ・親父の会企画「ウィンタースクール」「サンキュースクール」		東刈谷小学校区家庭教育地域推進協議会 実績1,380人 ・心肺蘇生法、AEDの使い方 ・あいさつ交通安全運動 ・アルミ缶、ペットボトルキャップ回収 ・親父の会企画「オータムスクール」「卒業生へのパルーンアート」		富士松東小学校区家庭教育地域推進協議会			
成果		学校、家庭、地域が協力して家庭教育地域活動、親子等ふれあい活動を行い、家庭教育への意識の高揚が図られた。							
課題		新型コロナウイルス感染症の影響を見極めつつ、内容を工夫する必要がある。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				30年度	元年度	2年度	3年度	5年度	
活動指標		家庭教育地域推進事業の実施			実施	実施	実施	継続実施	継続実施
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳	
	事業費 ①		270	270	270	270	合計	270,000 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	270,000 円	
		一般財源	270	270	270	270			
	職員人件費 ②		1,620	1,617	224	75			
	総事業費（①+②）		1,890	1,887	494	345			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称			
2年度までの累積事業費		0							
4年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			P T A 活動育成事業				担当部	教育部		
款	項	目					担当課	生涯学習課		
10	6	1					担当係	青少年係		
P L A 事 業 概 要 計 画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	生涯学習							
		施策の内容	学習活動の支援							
	目的	P T A 会員の教養の向上や相互の親睦を図ることにより、P T A 活動の育成を図る。				主たる内容	P T A 連絡協議会育成補助金を交付し、連絡協議会総会等の開催するほか、日本 P T A 全国研究大会や東海北陸ブロック研究大会に参加する。			
	位置づけ									
	関連計画									
	根拠法令									
	対象者	刈谷市小中学校 P T A 連絡協議会			事業期間	～				
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	B D O 実 績 実 施 V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画		
<ul style="list-style-type: none"> P T A 連絡協議会総会 P T A 研究大会及び情報交換会 東海・北陸ブロック P T A 研究大会愛知大会 日本 P T A 全国研究大会新潟大会 県・三河 P T A 連絡協議会各種事業 		<ul style="list-style-type: none"> P T A 連絡協議会総会 P T A 研究大会及び情報交換会 東海・北陸ブロック P T A 研究大会三重大会 日本 P T A 全国研究大会兵庫大会 県・三河 P T A 連絡協議会各種事業 		<ul style="list-style-type: none"> P T A 連絡協議会役員会 P T A 連絡協議会女性部研修 		<ul style="list-style-type: none"> P T A 連絡協議会総会 P T A 情報交換会 東海・北陸ブロック P T A 研究大会岐阜大会 日本 P T A 全国研究大会福岡大会 県・三河 P T A 連絡協議会各種事業 				
成果		新型コロナウイルス感染症の影響で各種会議及び大会が軒並み中止となったが、役員会及び女性部研修の実施により、各小中学校の P T A 間での交流が図られた。								
課題		活動内容の検討や、学校との協働活動等における P T A の役割について研究が必要である。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				30年度	元年度	2年度	3年度	5年度		
活動指標		P T A 総会など各種研修会の実施			実施	実施	実施	継続実施	継続実施	
指標										
他市との比較検証										
C 事 業 コ ス ト 建 設 事 業		単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳		
	事業費 ①		424	321	139	298	合計	138,679 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金	138,679 円		
		一般財源	424	321	139	298				
	職員人件費 ②		2,392	2,465	821	75				
	総事業費（①+②）		2,816	2,786	960	373				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称				
		2年度までの累積事業費		0						
4年度以降の事業費見込		0								

会計名 一般会計			生涯学習推進事業				担当部	教育部		
款	項	目					担当課	生涯学習課		
10	6	1					担当係	推進係		
P L A N ハ 計 画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	生涯学習							
		施策の内容	学習活動の支援							
	目的	刈谷市生涯学習推進計画に基づき各種事業を実施することで、市民の学習活動への取組みを支援する。				主たる内容	○第3次刈谷市生涯学習推進計画における目標値の見直し ○生涯学習に関する研修会の開催			
	位置づけ	関連計画	刈谷市生涯学習推進計画							
			根拠法令							
		対象者	市民等			事業期間	～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B D O ハ 実 施 V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画		
		<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習推進会議 職員研修会 グループ・サークル研修会 生涯学習リーダーステップアップ研修 		<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習推進会議 職員研修会 指導者研修会 生涯学習リーダー基礎知識講座 		<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習推進会議 第3次刈谷市生涯学習推進計画における目標値の見直し 職員研修会 		<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習推進会議 職員研修会 指導者研修会 生涯学習リーダー基礎知識講座 		
成果		・生涯学習指導者に対し研修会を実施し、生涯学習活動への取組みを支援することができた。 ・生涯学習推進計画策定から5年間の成果と実績を分析し、主な施策の最終目標値を新たに設定することで、今後5年間に推進する施策を再整理することができた。								
課題		生涯学習リーダーの活動が継続して行われるよう引き続き支援をする必要がある。								
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				30年度	元年度	2年度	3年度	5年度		
成果指標		生涯学習推進員（生涯学習リーダー）の人数（人）			32	26	27	32	37	
成果指標		グループ・サークル名簿登録団体数（団体）			169	166	230	230	300	
他市との比較検証										
C 事 業 コ ス ト		単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳		
	事業費 ①		1,455	1,441	94	344	合計	94,300 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	94,300 円		
		一般財源	1,455	1,441	94	344				
	職員人件費 ②		4,398	4,390	4,181	4,294				
	総事業費（①+②）		5,853	5,831	4,275	4,638				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称				
		2年度までの累積事業費		0						
4年度以降の事業費見込		0								

会計名 一般会計			公共施設予約案内システム管理事業				担当部	教育部
款	項	目					担当課	生涯学習課
10	6	1					担当係	施設係
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化					
		基本施策	生涯学習					
		施策の内容	生涯学習施設の利用促進					
	目的	公共施設の空き状況の確認、利用予約などの手続きがインターネットで可能となるシステムを運用する。	主たる内容	○公共施設予約案内システムの管理				
	位置づけ	関連計画		刈谷市生涯学習推進計画				
			根拠法令	刈谷市公共施設予約案内システムに関する規則、刈谷市教育委員会公共施設予約案内システムに関する規則				
			対象者	対象者を限定せず	事業期間	平成13年度～		
			実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他				
	BDO 事業実績 O 実施 V	30年度実績		元年度実績	2年度実績	3年度計画		
		<ul style="list-style-type: none"> 運用保守管理委託 一般施設等 40施設 機器リース 機器更新 		<ul style="list-style-type: none"> 運用保守管理委託 一般施設等 40施設 機器リース 	<ul style="list-style-type: none"> 運用保守管理委託 一般施設等 40施設 機器リース 	<ul style="list-style-type: none"> 運用保守管理委託 一般施設等 40施設 学校スポーツ開放施設 21校 機器リース 		
成果		利用者は公共施設を利用するにあたり、予約手続きが容易になるとともに、施設側では使用料の現金収納が減ること、事務の簡素化及び現金の紛失・盗難のリスクを回避することができた。						
課題		システムの利用推進を図るため、予約案内システムを広く周知し、システムによる予約申込件数を増加させる。						
指標		指標名称（単位）			実績値		目標値	
成果指標	システムによる施設予約申込件数（件）			30年度	元年度	2年度	3年度	5年度
指標				86,266	91,792	96,405	100,000	110,000
他市との比較検証	あいち共同利用型施設予約システム：安城市、知立市始め県内28市町 独自システム：碧南市、刈谷市ほか システム未導入：高浜市							
C 事業コスト	単位：千円	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳		
	事業費①	12,899	12,120	12,323	14,165	合計	12,323,453円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	1,401,565円
		一般財源	12,899	12,120	12,323	14,165	役務費	114,352円
	職員人件費②	2,778	2,272	2,128	1,394	委託料	8,991,840円	
	総事業費（①+②）	15,677	14,392	14,451	15,559	使用料及び賃借料	1,815,696円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0	2年度特定財源名称			
2年度までの累積事業費		0						
4年度以降の事業費見込		0						

会計名 一般会計			公民館事務費事業				担当部	教育部		
款	項	目					担当課	生涯学習課		
10	6	1					担当係	推進係		
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	生涯学習							
		施策の内容	学習活動の支援							
	目的	公民館活動の功績が顕著な方の表彰や県が実施する事業へ参加することにより、公民館事業の円滑な実施を図る。				主たる内容	中央公民館長表彰に要する経費のほか、県が実施する公民館関係事業へ参加するための経費を支出する。			
	位置づけ									
	関連計画									
	根拠法令									
	対象者	市民				事業期間	～			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input checked="" type="checkbox"/> その他								
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画		
<ul style="list-style-type: none"> 中央公民館長表彰 14名 県公民館連合会理事会 県公民館主事部会代表者会 県公民館連合会総会 		<ul style="list-style-type: none"> 中央公民館長表彰 10名 県公民館連合会理事会 県公民館主事部会代表者会 県公民館連合会総会 		<ul style="list-style-type: none"> 中央公民館長表彰 8名 県公民館連合会理事会 県公民館主事部会代表者会 県公民館連合会総会 		<ul style="list-style-type: none"> 中央公民館長表彰 7名 県公民館連合会理事会 県公民館主事部会代表者会 県公民館連合会総会 				
成果		・中央公民館長表彰の実施により、多年にわたる公民館活動への取組みを広く知らしめるとともに、他の者への活動の励みとすることができた。 ・県の主催する公民館関係事業へ参加することにより、各市町の活動状況などを把握することができた（令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により書面会議）。								
課題		・毎年総合式典に合わせて行われる中央公民館長表彰の対象者数により、記念品費などが増減する。 ・各種会議での報告は、会議へ参加しなくても書面で十分な場合があることを踏まえ、事務の軽減を検討する必要がある。								
指標名称（単位）					実績値		目標値			
					30年度	元年度	2年度	3年度	5年度	
活動指標		中央公民館長表彰実施及び各種会議参加				実施	実施	実施	継続実施	継続実施
指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳		
	事業費 ①		103	112	71	101	合計		70,814 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	16,000 円		
		一般財源	103	112	71	101	旅費	3,840 円		
	職員人件費 ②		2,083	2,465	1,792	2,863	需用費	36,674 円		
	総事業費（①+②）		2,186	2,577	1,863	2,964	負担金、補助及び交付金	14,300 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称				
2年度までの累積事業費		0								
4年度以降の事業費見込		0								

会計名 一般会計			市民館施設管理事業				担当部	教育部	
款	項	目					担当課	生涯学習課	
10	6	1					担当係	施設係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	生涯学習						
		施策の内容	生涯学習施設の利用促進						
	目的	指定管理者により、適切な施設の管理運営を行い、地域活動の活性化及び生涯学習の推進を図る。				主たる内容	○市民館の管理運営		
	位置づけ	関連計画	刈谷市生涯学習推進計画						
			根拠法令	刈谷市コミュニティ施設条例、刈谷市市民館施設維持管理要綱					
		対象者	市民			事業期間	昭和61年度～		
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業 実績 D 実績 O 実績 V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画	
		<ul style="list-style-type: none"> 施設又は設備の修繕 樹木剪定委託 指定管理料（全22館） 		<ul style="list-style-type: none"> 施設又は設備の修繕 樹木剪定委託 指定管理料（全22館） 		<ul style="list-style-type: none"> 施設又は設備の修繕 樹木剪定委託 指定管理料（全23館） 		<ul style="list-style-type: none"> 施設又は設備の修繕 樹木剪定委託 指定管理料（全23館） 	
成果		指定管理者である各市民館運営委員会からの報告や経年劣化状況を踏まえ、施設の修繕や樹木の剪定を行った。							
課題		今後とも地域の実情に応じ、地域に愛される市民館として、適切に施設の管理運営を実施するため、指定管理者である各市民館運営委員会との連携を密にし、施設の状況把握に努める。							
指標		指標名称（単位）				実績値		目標値	
		30年度	元年度	2年度	3年度	5年度			
成果指標	利用者満足度（％）	90.9	86.4	95.7	90.0	90.0			
指標									
他市との比較検証	類似事例なし								
C 事業 コスト V	単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳		
	事業費 ①		24,760	24,890	25,772	28,188	合計	25,772,396 円	
	財源	特定財源	19	18	21	36	需用費	2,653,860 円	
		一般財源	24,741	24,872	25,751	28,152	役務費	228,937 円	
	職員人件費 ②		2,508	2,734	2,203	1,469	委託料	22,889,599 円	
	総事業費（①+②）		27,268	27,624	27,975	29,657			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称			
2年度までの累積事業費		0		行政財産目的外使用料					
4年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			公民館運営事業				担当部	教育部	
款	項	目					担当課	生涯学習課	
10	6	1					担当係	推進係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	計画推進						
		基本施策	参加・協働						
		施策の内容	地域活動の推進						
	目的	公民館活動の運営を行い、地区活動の活性化を図り、社会教育の活性化を目指す。				主たる内容	○公民館運営委託 ○備品購入補助 ○公民館連絡協議会補助 ○公民館役員（館長・主事・書記）への謝礼		
	位置づけ								
	関連計画								
	根拠法令	地区公民館備品等整備事業補助金交付要綱							
	対象者	市民			事業期間	～			
	実施方法	□直営 ■委託 □指定管理 ■補助・助成 □その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画	
・公民館運営委託(23地区) ・公民館備品購入補助(20地区) ・公民館連絡協議会補助		・公民館運営委託(23地区) ・公民館備品購入補助(22地区) ・公民館連絡協議会補助		・公民館運営委託(23地区) ・公民館備品購入補助(22地区) ・公民館連絡協議会補助 ・公民館役員(館長・主事・書記)への謝礼		・公民館運営委託(23地区) ・公民館備品購入補助 ・公民館連絡協議会補助 ・公民館役員(館長・主事・書記)への謝礼			
成果		・各地区公民館へ事業委託及び備品購入補助を行い、公民館活動の活性化を推進した。 ・備品購入補助対象をコロナ対策備品も可能となるよう拡大し、新型コロナウイルス感染拡大防止と公民館活動との両立を図った。							
課題		・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行いながら各地区の特性を生かした活動が行えるよう、引き続き支援に努める必要がある。							
指標名称(単位)				実績値		目標値			
				30年度	元年度	2年度	3年度	5年度	
活動指標		公民館活動事業数(事業)			160	160	61	160	165
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		30年度(決算)	元年度(決算)	2年度(決算)	3年度(予算)	2年度事業費内訳	
	事業費①		13,526	14,241	22,548	23,987	合計	22,547,776円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	7,755,600円	
		一般財源	13,526	14,241	22,548	23,987	役務費	89,700円	
	職員人件費②		2,855	3,235	2,912	3,616	委託料	11,136,000円	
	総事業費(①+②)		16,381	17,476	25,460	27,603	負担金、補助及び交付金	3,566,476円	
	建設事業	全体事業費(単位：千円)		0		2年度特定財源名称			
2年度までの累積事業費		0							
4年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			市民館施設改修事業				担当部	教育部		
款	項	目					担当課	生涯学習課		
10	6	1					担当係	施設係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	生涯学習							
		施策の内容	生涯学習施設の利用促進							
	目的	市民館の施設又は設備の老朽化に伴う改修等を行うことで、安全で快適な施設を維持する。			主たる内容	○施設又は設備の改修工事 ○施設又は設備の修繕				
	位置づけ	関連計画	刈谷市生涯学習推進計画、刈谷市公共施設等総合管理計画、刈谷市公共施設維持保全計画							
			根拠法令	刈谷市コミュニティ施設条例、刈谷市市民館施設整備要綱						
			対象者	市民		事業期間	～			
			実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業 実績 D 実績 O 実績 V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画		
		<ul style="list-style-type: none"> 屋上防水改修 築地、小山、半城土市民館 外壁改修 半城土市民館 駐車場改修 中部市民館 		<ul style="list-style-type: none"> 屋上防水改修、外壁改修 泉田、一ツ木、元刈谷市民館 畳表替修繕 井ヶ谷、東境、桜、中部、元刈谷市民館 		<ul style="list-style-type: none"> 空調設備の改修（繰越） 刈谷中部、今川、東刈谷市民館 外壁改修 刈谷東部市民館 便所改修 畳表替修繕 高津波、重原、今岡、築地、小垣江市民館 		<ul style="list-style-type: none"> 便所改修 井ヶ谷、今岡、一里山、刈谷西部、小垣江、高須、桜、今川市民館 		
成果		公共施設維持保全計画及び指定管理者である各市民館運営委員会との補修箇所の協議に基づき、施設又は設備の修繕を行い、適切な施設の維持管理を行った。								
課題		空調機については、各市民館の建設年次及び空調機の設置年次からの経過年数を基に取替計画を策定し、各市民館運営委員会からの故障・不具合報告を踏まえ、計画的に実施する。今後、経年劣化により設備の不具合の増加も予想されることから、常に各市民館の状況を把握していく必要がある。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				30年度	元年度	2年度	3年度	5年度		
活動指標		空調機更新率（％）			79.0	79.0	88.4	88.4	97.8	
活動指標		外壁改修率（％）			45.5	59.1	63.6	63.6	77.3	
他市との比較検証		類似事例なし								
C 事業 コスト 建設事業		単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度 事業費内訳		
	事業費 ①		35,286	31,797	29,634	6,400	合計		29,634,000 円	
	財源	特定財源	0	166	12,327	0	需用費		594,000 円	
		一般財源	35,286	31,631	17,307	6,400	工事請負費		29,040,000 円	
	職員人件費 ②		1,582	1,579	1,605	866				
	総事業費（①+②）		36,868	33,376	31,239	7,266				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称				
2年度までの累積事業費		0		前年度繰越金						
4年度以降の事業費見込		0								

会計名 一般会計			集会所設置等補助事業				担当部	教育部		
款	項	目					担当課	生涯学習課		
10	6	1					担当係	施設係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	生涯学習							
		施策の内容	生涯学習施設の利用促進							
	目的	集会所の管理に必要な経費の一部を補助することにより、地域活動の活性化及び生涯学習の推進を図る。				主たる内容	○集会所借地料補助 ○集会所運営費補助 ○集会所修繕費補助			
	位置づけ	関連計画	刈谷市生涯学習推進計画							
			根拠法令	集会所設置等補助金交付要綱						
		対象者	市民			事業期間	～			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画		
		・集会所運営費補助（33か所） ・集会所借地料補助（9か所） ・集会所修繕費補助		・集会所運営費補助（33か所） ・集会所借地料補助（9か所） ・集会所修繕費補助		・集会所運営費補助（33か所） ・集会所借地料補助（9か所） ・集会所修繕費補助		・集会所運営費補助（33か所） ・集会所借地料補助（9か所） ・集会所修繕費補助		
成果		集会所の維持管理に要する運営費、借地料及び修繕費を補助することにより、地域住民の負担を軽減し、地域活動の拠点の確保に寄与した。								
課題		補助金の額、交付方法及び交付時期については、今後も継続して4年に一度、全庁的な補助金の見直しの時期に合わせて検討する。 また、集会所管理者への制度周知を実施し、集会所の維持に貢献する。								
指標名称（単位）		実績値			目標値					
		30年度	元年度	2年度	3年度	5年度				
活動指標	集会所修繕費補助件数（件）	2	12	6	4	3				
成果指標	補助により運営を維持できた集会所数（箇所）	33	33	33	33	33				
他市との比較検証	類似事例なし									
C 事業コスト V	単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳			
	事業費 ①		8,957	13,167	11,130	11,344	合計 11,129,745 円			
	財源	特定財源	7	6	7	7	負担金、補助及び交付金 11,129,745 円			
		一般財源	8,950	13,161	11,123	11,337				
	職員人件費 ②		1,505	1,502	1,381	1,394				
	総事業費（①+②）		10,462	14,669	12,511	12,738				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称				
2年度までの累積事業費		0		土地建物貸付収入						
4年度以降の事業費見込		0								

会計名 一般会計			キッズクラブ事業				担当部	教育部	
款	項	目					担当課	生涯学習課	
10	6	5					担当係	青少年係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	青少年育成						
		施策の内容	青少年の自立支援と社会参加の促進						
	目的	週末に子どもの安心・安全な活動拠点を設け、遊び、文化活動等の体験活動を通じ、子どもが心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。		主たる内容	小・中学生を対象に市内3か所の生涯学習センターでキッズクラブを開設し、子どもたちが安心して集うことができる居場所を提供する。 ○開催場所 ・たんぼぼ 南部生涯学習センター ・アイリス 総合文化センター ・かきつばた 北部生涯学習センター ○開催日 6月から3月までの土曜日				
	関連計画								
	根拠法令	刈谷市キッズクラブ事業実施要綱							
	対象者	市内在住の小・中学生		事業期間	平成17年度～				
	実施方法	□直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画	
		【参加者延べ人数】		【参加者延べ人数】		【参加者延べ人数】		【参加予定人数】	
・たんぼぼ		326人	・たんぼぼ	308人	・たんぼぼ	238人	・たんぼぼ	250人	
・アイリス		524人	・アイリス	321人	・アイリス	146人	・アイリス	250人	
・かきつばた		132人	・かきつばた	110人	・かきつばた	64人	・かきつばた	120人	
合計		982人	合計	739人	合計	448人	合計	620人	
成果		創作活動、自然体験など、様々な活動を通して地域住民や異世代交流を図るとともに、週末の安心・安全な居場所を提供することができた。							
課題		新型コロナウイルス感染症拡大のため、事業の実施が9月からとなった。コロナ禍における事業実施方法について検討する必要がある。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			30年度	元年度	2年度	3年度	5年度		
活動指標	開催数（回）		80	71	49	70	80		
成果指標	参加者数（人）		982	739	448	620	800		
他市との比較検証	高浜市は1校のみPTA土曜クラブに委託し、家庭科、書道、剣道、ちぎり絵、フルートの5クラブ制で開催している。								
C 事業コスト V	単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳		
	事業費 ①		2,899	2,763	2,177	2,795	合計	2,176,517 円	
	財源	特定財源	1,177	1,016	910	911	委託料	2,176,517 円	
		一般財源	1,722	1,747	1,267	1,884			
	職員人件費 ②		1,620	1,617	1,195	1,205			
	総事業費（①+②）		4,519	4,380	3,372	4,000			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称			
2年度までの累積事業費		0		地域学校協働活動推進事業費補助金（県）					
4年度以降の事業費見込		0							

会計名			青年講座開催事業				担当部	教育部	
一般会計							担当課	生涯学習課	
款	項	目					担当係	青少年係	
10	6	5							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	青少年育成						
		施策の内容	青少年の自立支援と社会参加の促進						
	目的	青年層に多様な学習・体験活動の機会の場を提供し、生涯学習の推進を図る。		主たる内容	碧海5市在住または市内在勤・在学の18～39歳を対象に、文化・芸術・福祉・スポーツなどの各種講座を開催する。				
	関連計画								
	位置づけ	根拠法令							
	対象者	18～39歳の青年層		事業期間	平成7年度～				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業 D 実績 O 実施 V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画	
		・青年講座4期30回 第1期 やってみよう！おうちでランチ、おもてなし 8回 第2期 竹籠細工と革雑貨づくり 8回 第3期 やってみよう！はじめてのフードアート 8回 第4期 一眼レフ初心者のためのフォトレッスン 6回 受講生延べ504人		・青年講座4期26回 第1期 暮らしを彩るフラワーアレンジメント 5回 第2期 はじめてのウクレレ講座 8回 第3期 ベリーダンスでキレイをつくろう 8回 第4期 ヨガとピラティスで心身を美しく整えよう 5回 受講生延べ224人		・青年講座3期21回 第1期 はじめてのチョコレート 8回 第2期 おうち時間を彩る季節のハンドメイド講座 5回 第3期 やってみよう！Webプログラミングはじめの一步 8回 受講生延べ165人		・青年講座3期24回	
成果		青年層に多様な学習・体験活動の機会の場を提供することができた。また、新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、青年講座では初めてとなるオンラインによる講座を行った。							
課題		新型コロナウイルス感染症の影響下でも実施可能な講座について検討する必要がある。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			30年度	元年度	2年度	3年度	5年度		
活動指標	募集案内配布事業所数（か所）		33	33	33	33	33		
成果指標	受講者数（人）		77	44	28	45	45		
他市との比較検証									
C 事業 コスト	単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳		
	事業費 ①		433	417	398	554	合計	397,550 円	
	財源	特定財源	65	26	19	64	報償費	348,000 円	
		一般財源	368	391	379	490	使用料及び賃借料	49,550 円	
	職員人件費 ②		3,395	3,235	2,389	2,411			
	総事業費（①+②）		3,828	3,652	2,787	2,965			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称			
2年度までの累積事業費		0		青年講座受講料					
4年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			成人式開催事業				担当部	教育部		
款	項	目					担当課	生涯学習課		
10	6	5					担当係	青少年係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	青少年育成							
		施策の内容	青少年の自立支援と社会参加の促進							
	目的	刈谷市成人式実行委員会との共催で成人式を開催し、次代を担う新成人の門出を祝福するとともに、大人になったことを自覚し、自ら生き抜こうとする意欲の向上を図る。			主たる内容	新成人の中から実行委員会を組織し、式の企画、運営を行い、心に残る成人式を開催する。				
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令								
		対象者	新成人			事業期間	～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画		
		開催日 平成31年1月13日 会場 総合文化センター 対象者数 2,048名 参加者数 1,388名		開催日 令和2年1月12日 会場 総合文化センター 対象者数 1,874名 参加者数 1,289名		開催日 令和3年1月10日 会場 総合文化センター 対象者数 1,913名 参加者数 1,261名 ※新型コロナウイルス感染症の影響により2部制で開催		開催日 令和4年1月9日 会場 総合文化センター 対象者数 約1,800名		
成果		成人式を行うことにより、新成人が恩師や旧友らと話し合う機会となり、大人として今後どのように生きていくかを語るきっかけとなった。 実行委員会により自主的な式の企画・運営を行うことにより、社会参加の機会を提供することができた。								
課題		実行委員の募集について学校の推薦に頼るところが多く、学校側の負担感が増しているため、公募及び紹介による確保に移行できるよう実行委員会の魅力発信に検討を要する。								
指標名称（単位）				実績値		目標値				
				30年度	元年度	2年度	3年度	5年度		
成果指標		協力ボランティア（THE成人・次年度実行委員）の参加人数（人）			31	27	36	40	40	
成果指標		成人式参加率（％）			67.8	68.8	65.9	70	70	
他市との比較検証		碧南市、安城市、知立市、高浜市、東浦町は成人式実行委員会を組織し、実施している。								
C 事業コスト V		単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳		
	事業費 ①		3,978	4,045	4,365	4,629	合計 4,365,113 円			
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料 3,769,533 円			
		一般財源	3,978	4,045	4,365	4,629	使用料及び賃借料 595,580 円			
	職員人件費 ②		4,784	4,621	6,346	5,273				
	総事業費（①+②）		8,762	8,666	10,711	9,902				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称				
2年度までの累積事業費		0								
4年度以降の事業費見込		0								

会計名 一般会計			施設管理事業				担当部	教育部		
款	項	目					担当課	生涯学習課		
10	6	11					担当係	施設係		
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	生涯学習							
		施策の内容	生涯学習施設の利用促進							
	目的	指定管理者により、適切に市民休暇村の管理運営を行い、市民の福祉の増進を図る。			主たる内容	○市民休暇村の管理運営				
	関連計画									
	位置づけ	根拠法令	刈谷市民休暇村条例、刈谷市民休暇村条例施行規則							
	対象者	市民			事業期間	平成10年度～				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	BDO 事業実績 計画V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画		
		<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者による管理運営 施設又は設備の修繕 備品の更新 		<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者による管理運営 施設又は設備の修繕 備品の更新 		<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者による管理運営 		<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者による管理運営 		
成果		指定管理者により適切に施設の管理運営を行い、令和2年2月までは80%を超える客室稼働率を維持することができ、市民の福祉の増進を図ることができた。								
課題		施設又は設備の老朽化などから今後は80%を超える稼働率を維持することも困難となることが予想される。指定管理者の管理運営に対するモニタリング、指導、助言を行い、リピーターを大切にしつつ新規利用者の獲得に努めるなど稼働率の維持拡大を図る必要がある。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				30年度	元年度	2年度	3年度	5年度		
成果指標		年間客室稼働率（%）	80.0	78.1	47.9	60.0	80.0			
成果指標		ふれ愛パーク利用者数（人）	932	948	625	500	900			
他市との比較検証		尾張旭市「尾張あさひ苑（阿智村）」継続運営 豊田市「リゾート安曇野」H31.3.31廃止済 岡崎市「桑谷山荘」H23.12.31廃止済 碧南市「車山みどり山荘」H23.3.30廃止済								
C 事業コスト		単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳		
	事業費①		100,526	105,851	100,768	89,803	合計	100,767,509円		
	財源	特定財源	1	1	1	12	役員費	61,042円		
		一般財源	100,525	105,850	100,767	89,791	委託料	94,665,000円		
	職員人件費②		1,967	1,964	2,091	1,507	使用料及び賃借料	3,526,907円		
	総事業費（①+②）		102,493	107,815	102,859	91,310	負担金、補助及び交付金	2,514,560円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称				
2年度までの累積事業費		0		行政財産目的外使用料						
4年度以降の事業費見込		0								

会計名			南部生涯学習センター施設管理事業				担当部	教育部		
一般会計							担当課	生涯学習課		
款	項	目					担当係	施設係		
10	6	12								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	生涯学習							
		施策の内容	生涯学習施設の利用促進							
	目的	指定管理者により、適切に施設の管理運営を行い、安全で快適に利用できる生涯学習施設を提供する。	主たる内容	○南部生涯学習センターの管理運営						
	位置づけ	関連計画	刈谷市生涯学習推進計画							
		根拠法令	刈谷市生涯学習センター条例、刈谷市生涯学習センター条例施行規則							
	対象者	対象者を限定せず		事業期間	平成13年度～					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
B 事業実績	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画			
	・指定管理者による管理運営		・指定管理者による管理運営		・指定管理者による管理運営		・指定管理者による管理運営			
	成果	市民の生涯学習の拠点として、指定管理者により適切に施設の運営管理を行い、生涯学習を推進した。								
	課題	利用者の意見を反映し、一層の利用率の向上を図り、より良い施設運営を継続する。								
O 実施	指標名称（単位）				実績値		目標値			
					30年度	元年度	2年度	3年度	5年度	
	成果指標	南部生涯学習センター稼働率（％）		41.5	41.5	29.0	30.0	40.0		
	成果指標	南部生涯学習センター利用者数（人）		45,695	44,730	25,914	30,000	40,000		
他市との比較検証										
C 事業コスト	単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳			
	事業費 ①		87,329	84,473	82,083	92,423	合計	82,083,307 円		
	財源	特定財源	9,706	9,517	6,941	9,204	需用費	12,439,556 円		
		一般財源	77,623	74,956	75,142	83,219	役務費	80,865 円		
	職員人件費 ②		2,778	2,002	1,717	1,281	委託料	67,687,873 円		
	総事業費（①+②）		90,107	86,475	83,800	93,704	使用料及び賃借料	1,585,053 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称				
2年度までの累積事業費		0		社会教育施設使用料						
4年度以降の事業費見込		0		行政財産目的外使用料 土地建物貸付収入						

会計名			北部生涯学習センター施設管理事業				担当部	教育部	
一般会計							担当課	生涯学習課	
款	項	目					担当係	施設係	
10	6	12							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	生涯学習						
		施策の内容	生涯学習施設の利用促進						
	目的	指定管理者により、適切に施設の管理運営を行い、安全で快適に利用できる生涯学習施設を提供する。	主たる内容	○北部生涯学習センターの管理運営					
	位置づけ	関連計画	刈谷市生涯学習推進計画						
		根拠法令	刈谷市生涯学習センター条例、刈谷市生涯学習センター条例施行規則						
	対象者	対象者を限定せず	事業期間	平成20年度～					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画	
		・指定管理者による管理運営 ・施設又は設備の修繕		・指定管理者による管理運営		・指定管理者による管理運営		・指定管理者による管理運営	
成果		市民の生涯学習の拠点として、指定管理者により適切に施設の管理運営を行い、生涯学習を推進した。							
課題		利用者の意見を反映し、一層の利用率の向上を図り、より良い施設運営を継続する。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				30年度	元年度	2年度	3年度	5年度	
成果指標		北部生涯学習センター稼働率（%）		32.9	30.3	24.7	25.0	30.0	
成果指標		北部生涯学習センター利用者数（人）		74,901	64,937	35,219	50,000	70,000	
他市との比較検証		知立市文化会館 花しょうぶホール 293席 安城市アンフォーレ ホール 255席 碧南市芸術文化ホール エメラルドホール 452席							
C 事業コスト		単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳	
	事業費 ①		91,958	93,491	98,009	105,465	合計	98,008,715 円	
	財源	特定財源	16,081	14,379	11,051	14,574	需用費	2,893,000 円	
		一般財源	75,877	79,112	86,958	90,891	役務費	51,533 円	
	職員人件費 ②		2,392	2,002	1,717	904	委託料	94,780,382 円	
	総事業費（①+②）		94,350	95,493	99,726	106,369	備品購入費	283,800 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称			
		2年度までの累積事業費		0		社会教育施設使用料 行政財産目的外使用料			
		4年度以降の事業費見込		0					

会計名			南部生涯学習センター施設改修事業				担当部	教育部		
一般会計							担当課	生涯学習課		
款	項	目					担当係	施設係		
10	6	12								
PLAN概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	生涯学習							
		施策の内容	生涯学習施設の利用促進							
	目的	南部生涯学習センターの施設又は設備の老朽化に伴う改修等を行うことで、安全で快適な施設を維持する。	主たる内容	○施設又は設備の改修工事 ○施設又は設備の劣化状況調査						
	位置づけ	関連計画		刈谷市生涯学習推進計画、刈谷市公共施設等総合管理計画、刈谷市公共施設維持保全計画						
			根拠法令	刈谷市生涯学習センター条例、刈谷市生涯学習センター条例施行規則						
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B D O 実 施	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画		
		<ul style="list-style-type: none"> 空調機（10台）取替 立体駐車場移動式粉末消火設備取替 照明制御盤更新 冷却水冷水ポンプ軸受取替 冷却塔修繕 自家発電設備蓄電池取替 防犯カメラシステム修繕 エントランスホール修繕 		<ul style="list-style-type: none"> 空調機（8台）取替 電話交換設備取替 シャワー便座設置 防犯カメラ増設 		<ul style="list-style-type: none"> 空調機（7台）取替 屋上防水改修 駐輪場増設 外壁調査 		<ul style="list-style-type: none"> 空調機（7台）取替 給湯温水設備改修 駐車場等整備 喫煙室撤去 		
成果		老朽化した施設又は設備を補修し、施設を良好な状態に保ち、安全で快適な施設を維持することができた。								
課題		施設又は設備の老朽化に伴い、計画的かつ適切に改修を行っていく必要がある。								
O 実 施	指標名称（単位）				実績値		目標値			
					30年度	元年度	2年度	3年度	5年度	
	成果指標	南部生涯学習センター稼働率（％）			41.5	41.5	29.0	30.0	40.0	
	成果指標	南部生涯学習センター利用者数（人）			45,695	44,730	25,914	30,000	40,000	
	他市との比較検証									
C 事 業 コ ス ト	単位：千円		30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳			
	事業費 ①		23,711	11,373	9,192	47,000	合計		9,192,348 円	
	財源	特定財源	0	0	0	14,000	委託料		869,000 円	
		一般財源	23,711	11,373	9,192	33,000	工事請負費		8,323,348 円	
	職員人件費 ②		964	1,348	1,232	1,017				
	総事業費（①+②）		24,675	12,721	10,424	48,017				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		2年度特定財源名称				
2年度までの累積事業費		0								
4年度以降の事業費見込		0								

会計名			北部生涯学習センター施設改修事業				担当部	教育部	
一般会計							担当課	生涯学習課	
款	項	目					担当係	施設係	
10	6	12							
PLAN概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	生涯学習						
		施策の内容	生涯学習施設の利用促進						
	目的	北部生涯学習センターの施設又は設備の老朽化に伴う改修等を行うことで、安全で快適な施設を維持する。		主たる内容	○施設又は設備の改修工事 ○施設又は設備の修繕				
	位置づけ	関連計画 刈谷市生涯学習推進計画、刈谷市公共施設等総合管理計画、刈谷市公共施設維持保全計画							
	根拠法令	刈谷市生涯学習センター条例、刈谷市生涯学習センター条例施行規則							
	対象者	対象者を限定せず			事業期間	～			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B D O 実績	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画	
		<ul style="list-style-type: none"> メインホール舞台音響設備制御機器改修 防火シャッター危害防止装置取付 研修室棟他屋上防水工事 メインホール舞台機構修繕（ワイヤーロープ） 浄化槽設備修繕 		<ul style="list-style-type: none"> メインホール舞台音響設備改修（調整ミキサー卓等） 防犯カメラ設置 非常用蓄電池触媒栓取替 		<ul style="list-style-type: none"> メインホール緞帳修繕 空調設備自動制御装置取替 自家発電機始動用蓄電池取替 電話交換機取替 メインホール及び多目的ホール音響設備改修 		<ul style="list-style-type: none"> 駐車場改修 音響改修 中央監視UPS取替 点検口設置 	
成果		老朽化した施設又は設備を改修し、施設を良好な状態に保ち、安全で快適な施設を維持することができた。							
課題		県が平成2年に開館した施設（愛知県勤労福祉会館）の譲渡を受け、市が生涯学習センターとして転用利用している施設であるため、施設又は設備の老朽化により不具合が生じている。適切な時期に予防保全を実施し、長寿命化を図る必要がある。							
C コスト	指標名称（単位）		実績値			目標値			
			30年度	元年度	2年度	3年度	5年度		
	成果指標	北部生涯学習センター稼働率（%）	32.9	30.3	24.7	25.0	30.0		
	成果指標	北部生涯学習センター利用者数（人）	74,901	64,937	35,219	50,000	70,000		
他市との比較検証	知立市文化会館 花しょうぶホール 293席 安城市アンフォーレ ホール 255席 碧南市芸術文化ホール エメラルドホール 452席								
V	単位：千円	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度 事業費内訳			
	事業費 ①	21,653	41,925	16,799	4,800	合計	16,799,200 円		
	財源	特定財源	0	27,714	0	0	需用費	880,000 円	
		一般財源	21,653	14,211	16,799	4,800	工事請負費	15,919,200 円	
	職員人件費 ②	1,350	1,348	1,232	1,017				
	総事業費（①+②）	23,003	43,273	18,031	5,817				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）	0		2年度特定財源名称				
2年度までの累積事業費		0		前年度繰越金					
4年度以降の事業費見込		0							

会計名			施設管理事業				担当部	教育部	
一般会計							担当課	生涯学習課	
款	項	目					担当係	施設係	
10	6	13							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	生涯学習						
		施策の内容	生涯学習施設の利用促進						
	目的	指定管理者により、適切に総合文化センターの管理運営を行い、生涯学習の機会及び文化芸術活動の発表の場を提供する。	主たる内容	○総合文化センターの管理運営					
	位置づけ	関連計画		刈谷市生涯学習推進計画、刈谷市文化振興基本計画					
		根拠法令		刈谷市総合文化センター条例、刈谷市民ホール条例、刈谷市生涯学習センター条例ほか					
		対象者	対象者を限定せず	事業期間	平成21年度～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画	
		・指定管理者による管理運営 ・施設又は設備の修繕		・指定管理者による管理運営 ・施設又は設備の修繕		・指定管理者による管理運営 ・施設又は設備の修繕		・指定管理者による管理運営 ・施設又は設備の修繕	
成果		生涯学習及び文化芸術の拠点として、指定管理者により適切に施設の管理運営を行い、生涯学習の推進及び文化芸術の振興に寄与した。							
課題		指定管理者により適切に施設の管理運営が行われるようモニタリングを実施し、指定管理者への指導等を行っていく必要がある。							
D 実績	指標名称（単位）				実績値		目標値		
					30年度	元年度	2年度	3年度	5年度
	成果指標	大ホール稼働率（%）			89.3	70.5	34.9	55.0	80.0
	成果指標	総合文化センターに対する満足度（%）			97.0	97.3	98.1	90.0	90.0
E 実施	他市との比較検証	知立市文化会館 かきつばたホール 1,004席 安城市民会館 サルビアホール 1,200席 碧南市芸術文化ホール エメラルドホール 452席 岡崎市民会館 あおいホール 1,100席							
	C 事業コスト	単位：千円	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳		
事業費①		477,363	482,038	477,904	530,683	合計	477,903,834 円		
財源		特定財源	132,461	110,506	62,606	119,230	需用費	47,802,514 円	
		一般財源	344,902	371,532	415,298	411,453	役務費	744,804 円	
職員人件費②		1,736	1,964	1,493	2,863	委託料	426,081,000 円		
総事業費（①+②）		479,099	484,002	479,397	533,546	使用料及び賃借料	3,233,516 円		
建設事業	全体事業費（単位：千円）	0		2年度特定財源名称					
	2年度までの累積事業費	0		社会教育施設使用料					
	4年度以降の事業費見込	0							
F 実施	負担金、補助及び交付金	42,000 円							

会計名 一般会計			施設補修事業				担当部	教育部	
款	項	目					担当課	生涯学習課	
10	6	13					担当係	施設係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	生涯学習						
		施策の内容	生涯学習施設の利用促進						
	目的	総合文化センターの施設又は設備の老朽化に伴う補修を行うことで、安全で快適な施設を維持する。			主たる内容	○施設又は設備の修繕			
	位置づけ	関連計画 刈谷市生涯学習推進計画、刈谷市文化振興基本計画							
	根拠法令	刈谷市総合文化センター条例、刈谷市民ホール条例、刈谷市生涯学習センター条例ほか							
	対象者	対象者を限定せず			事業期間	平成27年度～			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	30年度実績		元年度実績		2年度実績		3年度計画	
		<ul style="list-style-type: none"> 冷温水発生機RH-2修繕 空調ポンプ修繕 中央監視装置修繕 舞台機構減速機潤滑油交換 大ホール、小ホール、リハーサル室1 施設棟周囲インターロッキング補修 		<ul style="list-style-type: none"> 冷温水発生機RH-1修繕 駐車場エキスパンションジョイント蓋修繕 上水、雑用水加圧給水ポンプユニット修繕 空調機用自動制御ダンパ操作器等取替 直流電源装置蓄電池取替 		<ul style="list-style-type: none"> 冷温水発生機RH-3修繕 舞台照明設備等修繕 		<ul style="list-style-type: none"> 中央監視装置用無停電電源装置修繕 	
成果		老朽化した施設又は設備を補修し、施設を良好な状態に保ち、安全で快適な施設を維持することができた。							
課題		施設又は設備の老朽化に伴い、継続的かつ適切に補修を行っていく必要がある。							
成果指標		指標名称（単位）		実績値			目標値		
			30年度	元年度	2年度	3年度	5年度		
成果指標	大ホール稼働率（%）		89.3	70.5	34.9	55.0	80.0		
成果指標	総合文化センターに対する満足度（%）		97.0	97.3	97.9	90.0	90.0		
他市との比較検証	知立市文化会館 かきつばたホール 1,004席 安城市民会館 サルビアホール 1,200席 碧南市芸術文化ホール エメラルドホール 452席 岡崎市民会館 あおいホール 1,100席								
C 事業コスト 建設事業	単位：千円	30年度（決算）	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（予算）	2年度事業費内訳			
	事業費①	35,813	18,637	12,276	833	合計	12,276,000円		
	財源	特定財源	0	0	5,527	0	需用費	12,276,000円	
		一般財源	35,813	18,637	6,749	833			
	職員人件費②	1,119	1,348	635	264				
	総事業費（①+②）	36,932	19,985	12,911	1,097				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）	0		2年度特定財源名称				
2年度までの累積事業費		0		文化芸術振興費補助金					
4年度以降の事業費見込		0							